

平成 29 年（2017 年）12 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 4 日 目 ）

平成 29 年 12 月 14 日（木）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	上 里 直 司 (なはの翼 f 協働) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 母子保健相談指導事業における妊産婦・新生児訪問指導事業について 2 埋蔵文化財センターについて 3 那覇市公文書館の設置について 4 真和志庁舎について	(1) 平成 28 年度事業は前年度比、訪問件数が大幅に増加した。このことは評価すべきである。大幅増の要因と事業の効果について伺う (2) 助産師の報償費額が他市町村と比較してもかなり低額である。助産師のモチベーション向上の観点等からも増額すべきだが、見解を伺う (1) いつ本市の計画に位置付けられたのか。また、その時点より現在までの収蔵庫賃料の総額を伺う (2) 設置に向けた決意を伺う (1) 史料文書の保管場所である真和志庁舎地下の歴史博物館書庫について、収容容量、クーラー稼働などの保存状況に懸念はないのか。見解を伺う (2) 写真、映像資料の保存、公開に関する市民の声は高まっていると考えるが、見解を伺う (3) 史料文書だけでなく、写真、映像資料の保存、公開できる公文書館の設置をすべきである。見解を伺う 市長公約の真和志支所の建て替えの理由について伺う。また、老朽化している庁舎の耐震性は充分なのか、伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 29 年 12 月 14 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	古 堅 茂 治 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 観光・経済・ 雇用行政につ いて	オール沖縄の翁長県政と城間市政のもとで、沖縄県と本市の経済状況はかつてない好調を推移している。特に観光客数はハワイを超える勢いで伸び、那覇空港と那覇港を有し、「ヒト・モノ・コトが集い、活気あふれるまちなは」は、そのメインエンジンとして中心的役割を担っている (1) 那覇空港の海外就航路線・直行便数、入域外国人観光客数、那覇空港における国際貨物取扱量、沖縄県と本市の大型クルーズ船寄港状況について問う (2) 沖縄県と本市の入域観光客数、観光収入、観光の及ぼす関連産業を含めた経済波及効果について問う (3) 沖縄県と本市の情報通信関連産業の雇用者数・生産額を問う (4) 沖縄県と本市の事業所・従業員数、失業率、有効求人倍率について問う (5) 沖縄県と本市の総生産額、一人当たり所得、経済成長率、産業の特徴等について問う (6) 本市が創刊した産業・経済・雇用に関する情報共有紙「なはけいざいMAGAZINE」を高く評価する。反響と今後の展開について問う (7) 人材育成、各種イベントの拡充、大型クルーズ船バース新設、新市民会館建設、公設市場再整備、多言語対応、レンタカー・交通渋滞対策、中心商店街・市街地への公衆トイレの設置、アジアへ向けての国際物流拠点の形成、航空機クラスターの形成など、さらなる観光・経済発展への課題と取り組みについて問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 2018 年度からの実施計画について	2018 年度から 2020 年度までの 3 年間の具体的なまちづくりの計画となる「2018 年度実施計画」の特徴について問う
		3 パークゴルフ場について	市民と議会から要望のあるパークゴルフ場設置の検討状況、第 5 次総合計画案・次期年間の実施計画での位置づけについて問う
		4 大名児童館について	大名児童館の雨漏りの状況、改修について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 29 年 12 月 14 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	大 城 幼 子 (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 性の多様性 について	(1) L G B Tの中のトランスジェンダーと G I D (性同一性障がい)の違いについて伺う (2) 学校教職員に向けた性の多様性を学ぶ取 り組みについて状況を伺う (3) 児童生徒に向けた性の多様性を学ぶ取 り組みについて状況を伺う
		2 動物愛護行 政について	(1) 本市で収容している犬猫の譲渡活動の取 り組みについて伺う (2) 本市で収容している犬猫の譲渡を受けたい 場合、どのようにすればいいか
		3 道路行政及 び下水道行政 について	(1) カーブミラー設置について 安謝トンネル付近及び松山 1 丁目付近 T 字 路への設置について (2) 安謝の里道整備部分への注意喚起表示に ついて (3) 辻 1 丁目付近道路に停止線を設けること について (4) 西 2 丁目の浸水地域について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 29 年 12 月 14 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	前 泊 美 紀 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 公契約条例について 2 指定管理者制度について 3 教育行政について	県がまとめた「沖縄県の契約に関する条例（仮称）骨子案」によると、県条例は理念型条例としている 本市ではこれまで、公契約条例の制定について「県の動向を踏まえて検討」するとしているが、県の骨子案を踏まえた本市の公契約条例についての考え方を問う 本市において平成 16 年に指定管理者制度が導入されて以来、10 年余りが経過した。包括的かつ具体的な検証を行う時期であるが、現状と課題、それらへの取り組みを問う (1) 指定管理料の算定基準と内訳 (2) 応募状況 (3) 余剰発生の状況と対応 (4) 平成 25 年度那覇市包括外部監査「公の施設の管理運営及び指定管理者制度に関する事務の執行について」の結果報告書における意見・指摘等へのその後の措置 とりわけ、労働者の労働環境の保護に資するため「労働者保護の観点から、今後、公契約条例や協定が制定されることを期待する」(同報告書 42 頁) ことへの対応 公正取引委員会は去る 11 月 29 日、公立中学校の制服取引に関する調査結果を発表した その中で、公立中学校の制服の価格が上昇傾向にあり、学校と制服メーカー、販売店の関係や、取引方法が原因になっている可能性があるという指摘、学校側に、制服メーカー間及び販売店間の競争が有効に機能するよう、改善を求めている 本市の現状と対応を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 29 年 12 月 14 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	上 原 仙 子 (なはの翼 f 協働)	1 福祉行政について	(1) 障がい福祉における地域生活支援事業について以下伺う ① 事業の概要について ② 那覇市における盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業の現状について (2) 那覇市療育センターについて以下伺う ① 療育センターの目的、事業内容、特色、利用状況について ② 職員体制について ③ 施設建物の老朽化について (3) 那覇市地域包括支援センターについて、次年度には12カ所のセンターが18カ所となるが、その意義と各センターの圏域について伺う (4) 単位民生委員児童委員協議会の圏域について伺う
		2 防災行政について	自主防災組織について以下伺う (1) 自主防災組織の意義 (2) 組織結成の条件、現在の組織数、団体の内訳、活動状況について (3) 今後の組織拡充に向けた取り組みについて
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)

一般質問（４日目） 平成 29 年 12 月 14 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	野 原 嘉 孝 (公 明 党)	1 御茶屋御殿の復元について 2 沖縄伝統空手の保存継承について 3 伝統工芸の継承発展について 4 通学路の安全確保について	琉球文化の殿堂・御茶屋御殿（うちややうどうん）の早期復元に向けての意見書が、本年 2 月議会で全会一致で採択され、その重要性が再確認された。昨年（平成 28 年）、跡地に残存する石垣の測量が実施されたが、当該事業の目的と内容について伺う (1) 沖縄伝統空手の保存継承に対する本市の取り組みについて伺う (2) 三大手の発祥地である本市に伝統空手の源流「手」の顕彰碑を建立すべきと考えるが見解を伺う 琉球の文化を伝える伝統工芸の品々は沖縄の宝である。その継承発展への取り組みについて以下伺う (1) 本市の伝統工芸品の実態と売り上げの推移について (2) 後継者育成の支援について (3) 紅型会館の創建について 通学路の安全確保のため以前より要望のある案件について以下伺う (1) 真嘉比小学校前の横断歩道設置と歩行者通行帯の表示について (2) 新都心てんとう虫公園そばの交差点への信号機設置について
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)		【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 29 年 12 月 14 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 文化行政について	首里で行われる旗頭のガーエーを、文化財へと提案するが、那覇市の考えを伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 家族動物権について	殺処分ゼロなどは当然の目標であり、考えられるべきは家族やパートナーとしての動物の暮らす権利である。そこで、ファミリーアニマルライツとでも言うべき、動物たちの権利に対する那覇市の考えを伺う
		3 I C T の活用について	(1) 地域見守りや地域包括ケアへの活用を伺う (2) 公文書などの音声ガイドをバーコードなどで提供していくことを伺う (3) 市民相談への S N S やラインなどの活用を伺う
		4 施設管理について	(1) さいおんスクエアの運営状況を伺う (2) ジョギングコースのゴムブロック舗装の悪化が目立つが、その対応を伺う (3) 久茂地川沿いの整備について伺う
		5 働き方について	(1) 市内全小中学校へのタイムカード導入に向けて検討を進めていきたいということだが、その内容を伺う (2) ワークアズライフに対する那覇市の考えを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 29 年 12 月 14 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	奥 間 亮 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 保育士支援について 2 こども医療費助成制度について 3 大型クルーズ船の受け入れに関する観光行政について 4 全国学力テスト（全国学力・学習状況調査）について 5 放課後子ども教室について	那覇市が、独自の事業として新たに計画中の「潜在保育士の就職応援給付事業」の給付対象に、認可外保育園の保育士は除外する予定だと聞いたが、確かか。認可外保育園の先生方も対象に入れるべきである。那覇市の見解を問う こども医療費助成のさらなる拡充を、一日でも早く実現すべきである。県と那覇市の連携及び今後の取り組みについて問う 今年度那覇市が実施している、貨物バースに接岸する大型クルーズ船乗客を対象にした無料シャトルバス運行について、今後の対応について問う 今年度実施された全国学力テスト（全国学力・学習状況調査）において、那覇市中学生の結果（比較データ）と分析、課題と今後の取り組みについて問う。また、城間市長ご自身の考え方についても問う 中学校での放課後子ども教室を推進すべく、取り組みをさらに強化すべきである。那覇市の見解と現況、課題、今後の目標と具体的な取り組みについて問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 那覇市が予定している大型事業(新市民会館建設事業及び第一牧志公設市場整備事業について)	(1) いわゆる新市民会館(新文化芸術発信拠点施設)の建設場所を久茂地小学校跡地ではなく、別の場所に変更すべきとの市民の声が日に日に高まっている。場所の選定についてさまざまな問題がある中で、予算や費用等の問題も懸念されている 那覇市は、新市民会館建設及び第一牧志公設市場整備事業に一括交付金(ソフト交付金)を活用すると言っているが、平成30年度から平成33年度までのソフト交付金の活用予定について、具体的かつ明確に示していただきたい (2) 上記の新市民会館建設事業について、マネジメント計画について問う (3) 先週の7日に行った自民党会派の代表質問において、那覇市の広報や市民に対する説明に関して、那覇市はその不十分さを認めた。今後どのように対応するのか問う
		7 那覇軍港の浦添移設について	報道にもあるように、浦添市の西部開発に関する懇話会から、あらためて「南側案が望ましい」旨の結論が出ている 那覇市は軍港を「出す」立場であるのだから、苦渋の決断で軍港を「受け入れる」立場である浦添市民の皆様の心情を十分に考えて、対応すべきである。城間市長の見解と今後の動きを問う
		8 スポーツ振興(バスケットボール振興)について	2023年に開催させる「FIBAバスケットボールワールドカップ」の開催地に沖縄市が選ばれた。県の玄関口である那覇市は、沖縄市からの協力要請がある際に、受入体制等も含めスポーツ振興(バスケットボール振興)や観光行政、教育、健康などさまざまな分野の視点から、積極的かつ新たな取り組みを進めるべきである。那覇市の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長